

報道関係各位
プレスリリース

2022年6月2日
株式会社クラシコム

4カ国の映画祭に招待された「北欧、暮らしの道具店」オリジナル作品
『青葉家のテーブル』が韓国にてテレビ放映・デジタル配信が決定
～また第2弾ドラマ作品『ひとりごとエプロン』は1000万回再生突破、英・韓・中字幕公開へ～



4カ国の映画祭からの招待

- OFFICIAL SELECTION HUIT HAWAII INTERNATIONAL FILM FESTIVAL J-FEST 正式出品
- 2021 釜山国際映画祭 高雄映画祭 正式出品
- ASIA TISKA スウェーデン アジアティスカ映画祭 正式出品
- Asian Film Festival Barcelona パルセロナ アジアン映画祭 正式出品

「北欧、暮らしの道具店」オリジナル作品

아오바의 식탁

青葉家のテーブル

韓国テレビ放映 & デジタル配信開始

HOKUOH, KURASHINO DOUGUTEN

株式会社クラシコム（本社：東京都国立市、代表取締役：青木耕平、以下「当社」）が運営するライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店（URL: <https://hokuohkurashi.com/>）」の1作目となるオリジナルドラマ『青葉家のテーブル』が、Webドラマ版・劇場映画版ともに韓国でのテレビ放映・デジタル配信を開始いたします。まず先行してWebドラマ版が6月4日（土）からテレビ放送が始まり、6月5日（日）からは各デジタル配信を開始します。さらに、先日YouTubeでの再生回数がシリーズ合計1000万回を突破した2作目のオリジナル作品『ひとりごとエプロン』も海外からの大きな反響を受け、英語・韓国語・中国語（簡体・繁体）字幕を公開します。

【オリジナル作品の海外展開および実績について】

■1作目『青葉家のテーブル』（YouTube再生数：800万回・2021年6月映画版公開）

●海外展開

- ・ドラマ版は公開当初から日英の2カ国語で配信。
- ・映画版は、米国、スペイン、スウェーデン、台湾の4カ国の映画祭に招待され公開。

- ・台湾にてDVD販売、及び7プラットフォームでデジタル配信中。(2021年12月～)
- ・さらにこの度、韓国でのテレビ放映、デジタル配信が決定。

●実績

- ・Webドラマ版は2018年から4話+企業コラボスピンオフ3話を公開。
- ・シリーズ合計でYouTube約800万回再生。*1
- ・映画版を2021年6月に全国50カ所以上の劇場で公開。*2
- ・DVD/サウンドトラック/アナログレコード発売。*3
- ・Amazon Prime Videoで国内見放題独占配信ほか、18プラットフォームでデジタル配信中。

■2作目『ひとりごとエプロン』(YouTube再生数:1,000万回)

●海外展開

- ・公開当初から日英にて多言語化。
- ・約20%が海外からのアクセス。
- ・さらにこの度、英語・韓国語・中国語(簡体・繁体)字幕に対応

●実績

- ・2019年からWebドラマ版としてYouTubeを中心に12話+企業コラボ2話を公開。
- ・シリーズ合計YouTube1000万回再生突破。
- ・DVD/オリジナルグッズ発売。*4
- ・UCCとのコラボ作品が2022年5月にYouTube Works Awardsファイナリスト選出*5

『青葉家のテーブル』韓国展開について

『青葉家のテーブル』は、「北欧、暮らしの道具店」のオリジナルドラマ第1弾として、2018年4月に1話が公開されました。その反響の大きさにより続編制作が決まり、これまでに本編4話と企業タイアップのスピンオフ3話が公開されています。さらに2021年6月にはオリジナルストーリーで劇場映画化され、TOHOシネマズを中心に全国50カ所以上の劇場で公開されています。現在は、Amazon Prime Videoでの国内見放題独占配信ほか、各プラットフォームにてデジタル配信中です。



映画版の公開時は緊急事態宣言下だったため、公開4ヶ月に念願の舞台挨拶が実現。
舞台挨拶レポート：<https://hokuohkurashi.com/note/247812>

映画公開の当時はコロナの影響により、海外での劇場公開は難しい時期でしたが、瑞々しい映像と、高校生とその親世代の物語という普遍的なテーマが注目され、「ハワイ国際映画祭」をはじめ、スウェーデン、スペイン、台湾の映画祭から正式招待されるなど海外からの注目も高く、2021年12月からは台湾において、DVD販売及びデジタル配信も開始しております。



映画『青葉家のテーブル』
台湾キービジュアル

そして、この度、韓国において『青葉家のテーブル』のドラマ版・映画版のテレビ放映、デジタル配信が決定し、6月4日から順次各テレビ局・各デジタル配信プラットフォームにて配信を開始いたします。



ドラマ『青葉家のテーブル』
日本版キービジュアル



ドラマ『青葉家のテーブル』
韓国版キービジュアル

Webドラマ版の韓国版は独自のキービジュアルを制作

■韓国での展開スケジュール

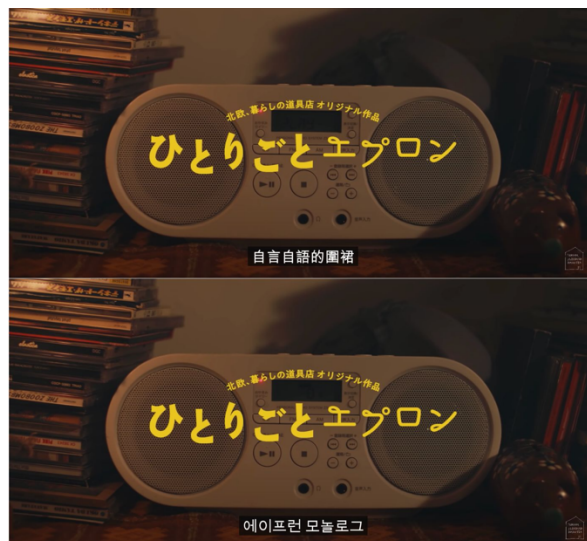
- ・ドラマ版は、テレビ放映を6月4日（土）から、デジタル配信を6月5日（日）から、順次開始。
- ・テレビ放映は、チャンネル「Soom」にて、6月の毎週土曜0時30分から放送。
- ・デジタル配信は、Wavve、TVING、Watcha、Seezn、Naver Series On、Kakao Pagの6プラットフォームで配信。その他、IPTV・ケーブルTVにて放送。
- ・映画版の配信は初秋を予定。

『ひとりごととエプロン』 3カ国対応について

『青葉家のテーブル』に続く2作目のオリジナル作品『ひとりごととエプロン』は、全12話と企業タイアップの2話が公開され、シリーズ合計でYouTube再生回数が1000万回を突破いたしました。



『ひとりごととエプロン』は、公開時から全話を英語字幕付きで配信していることや、海外のメディア・インフルエンサーから広がり、全体の20%は海外からのアクセスとなっております。そこで今回、英語に加え、アクセス上位となる、中国語（簡体・繁体）、韓国語の字幕も対応いたしました。



作品情報

■青葉家のテーブル

ドラマ版：<https://www.youtube.com/playlist?list=PLEqLkMA6K-8dX95EOTxSRFwokohkN3MjU>

映画版公式 HP：<http://aobakenotable.com>

タイトル：青葉家のテーブル

（英：Aroud The Table 韓国：아오바의 식탁 繁：青葉家的食光）

公開：〔ドラマ版〕2018年4月～／〔映画版〕2021年6月18日（金）

監督：松本壮史

主演：西田尚美

ストーリー：青葉家はちょっと複雑だ。シングルマザーの青葉春子(西田尚美)、その息子のリク(寄川歌太)、春子の歳の離れた友達めいこ(久保陽香)とめいこの彼氏ソラオ(忍成修吾)が同居している。青葉家の家訓は「何をしてもいいから、夜ごはんは家族そろって」。今日もテーブルを囲んで色んな話をする。

■ひとりごとエプロン

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLEqLkMA6K-8cdUROTn2RFoPI62FaWNUvo>

タイトル：ひとりごとエプロン

(英：Kitchen for Singles 韓：에이프런 모놀로그 簡：自言自语的围裙 繁：自言自語的圍裙)

公開：2019年12月～

監督：杉山弘樹

主演：松本妃代

ストーリー：朝8時に家を出て、夜6時に帰ってくる。そんな、ルーティンな日々を過ごす26歳OLの林夏希。普段はスーツに身を包む彼女も、家に帰ってくればそこは彼女のお城。学生時代から収集してきた雑貨類に囲まれ、2DKの団地に住んでいる。そんな彼女の日課は、音楽を聴きながら晩御飯を作ること。レシピは全て頭の中。その日の出来事、気になるもの、懐かしい思い出。頭に浮かんだものを、そのままリズムカルに料理にしていく。ひとりごとをつぶやきながら、音楽に身を任せ、今日も新しいレシピが生まれていく。

※1 参考プレスリリース：「北欧、暮らしの道具店」がオリジナル短編ドラマ「青葉家のテーブル」の配信をスタート！

<https://kurashi.com/news/10835>

※2 参考プレスリリース：映画『青葉家のテーブル』（西田尚美主演）6月18日（金）劇場公開決定。片桐仁・中野周平（蛙亭）など追加キャスト、劇中歌アーティスト、本編予告動画も公開。

<https://kurashi.com/news/10890>

※3 参考プレスリリース：映画『青葉家のテーブル』全国からの大きな反響に応え、DVD&アナログレコード発売！

<https://kurashi.com/news/10899>

※4 参考プレスリリース：『ひとりごとエプロン』xUCC「ドリップポッド」コラボドラマ、グーグル主催の広告賞「YouTube Works Awards」ファイナリスト選出！（2022年4月26日発表）

<https://kurashi.com/news/12271>

■ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」とは
 [HP]<https://hokuohkurashi.com/>
 [事業紹介動画]https://youtu.be/BFle3c_KFPg

「フィットする暮らし、つくろう。」をテーマに、北欧を中心とした様々な国の雑貨を販売しながら、Web記事、音声メディア、ドキュメンタリーやドラマなどを独自の世界観（ライフカルチャー）で発信するライフカルチャープラットフォームです。2021年は、オリジナルドラマ『青葉家のテーブル』の映画版を6月に劇場公開し大きな反響をうけると共に、様々なエンゲージメントチャンネルを持つプラットフォームとしての広いリーチ力と、世界観でつながるビジネスの独自性が評価され、2021年度「ポーター賞」を受賞しました。

サイトアクセス
200万 MAU

公式アプリ
180万 DL

Instagram
120万 フォロワー

LINE
70万 フォロワー

Youtubeチャンネル
50万 人登録

ポッドキャスト
50万 再生(月間)

※2022年3月現在

▲エンゲージメントチャンネルの数値



▲ライフカルチャープラットフォーム「北欧、暮らしの道具店」イメージ図
 独自の世界観（ライフ・カルチャー）があふれるサービスを体験できる リゾートパークのようなプラットフォーム

■会社概要

社名：株式会社クラシコム
 英文表記：Kurashicom Inc.
 代表者：代表取締役 青木耕平
 設立：2006年9月
 本社：東京都国立市東一丁目16番地17
 資本金：800万円
 事業内容：EC、メディア、広告、雑貨企画販売
 URL：<https://kurashi.com/>

代表取締役 青木耕平 プロフィール



1972 年生まれ。2006 年、実妹である佐藤友子と株式会社クラシコム共同創業。2007 年より北欧ヴィンテージ雑貨の EC サイト「北欧、暮らしの道具店」を開業。現在ではライフカルチャープラットフォームとして、「フィットする暮らし、つくろう。」をコンセプトに、国内外の商品のセレクト商品を扱いながらオリジナル商品を開発・販売するとともに、コラム・ポッドキャスト・動画などのコンテンツ制作・配信や、劇場映像製作、100 社を超える企業のマーケティング支援を行うなど、ライフカルチャーにまつわる事業を展開中。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社クラシコム広報担当：馬居（うまい）

Email : press@kurashicom.jp /TEL : 050-1749-6113